

### 地元企業が熱い思いを伝える 平成29年度高校生のための 合同企業説明会

「平成29年度高校生のための合同企業説明会」が、7月4日から26日にかけて県内6カ所で行われた。7月11日に石巻市総合体育館（石巻市）で開催された説明会では、石巻市、東松島市、女川町の企業67社と高校生407人が参加。生徒は希望する企業のブースで、企業の担当者の説明に耳を傾けた。

今回初めて参加した、北上電設工業株式会社（石巻市）の採用担当者は、「設備工事の分野は、工業高校出身者を採用するイメージを持たれがちですが、弊社では、普通高校で文系を学んだ卒業生も活躍しています。良い人材を広く集めたいと考えているので、高校生や先生に積極的にアピールしたいです」と話した。

参加した生徒は、「食品を製造している複数の企業から説明を聞きました。仕事の内容や職場の雰囲気、作っている製品などについて具体的な話を聞けたので、それぞれの企業のイメージをよく理解することができたと思います」と手応えを感じていた。

同説明会は、宮城労働局、ハローワーク、宮城県などが主催。この後には、企業と教員が意見交換を行う「企業と高等学校教諭の就職懇談会」も行われた。

ハローワーク石巻の担当者は、「みなさんが興味を持った企業から、直接説明を聞くことができる貴重な機会であり、就職面接のリハールにもなるので、今日の経験を本番でも生かしてほしい」と話した。



生徒に業務内容を説明する企業の採用担当者

### 小学生がホバークラフト工作に挑戦 トヨタ東日本学園「夏休み親子工作教室」

7月22日と23日に、トヨタ東日本学園（大衡村）で恒例の「夏休み親子工作教室」が行われた。同工作教室は、トヨタ自動車東日本株式会社（大衡



各テーブルには、トヨタ東日本学園の学園生がついて児童の作業を優しくサポートした



スイッチを入れると、ホバークラフトが床の上を浮上しながら走行した



工作の前に掃除機を使った模型に乗り、児童はホバークラフトの仕組みを体感した

村）と宮城県が主催し、今回で5年目の開催。この日集まった県内の小学生と保護者が、空気のできながら進む「ホバークラフト」の製作を楽しんだ。

参加した児童は、同学園生の説明を聞きながら、発泡スチロール板に、ビニール袋やモーター、電池ボックスなどを取り付け、ホバークラフトを完成させた。

テスト走行でホバークラフトが、床の上をすべるように走る様子を確かめた児童の一人は、「ホバークラフトのことは知っていたけど、作ったのは初めてでした。ちゃんと動いてくれてよかったです」と話した。

サポート役を務めた同学園生は、「道具の使い方や作り方を分かりやすく教えるのが難しかった。参加した子どもたちが、ものづくりに興味を持ってくれたらうれしいです」と語った。

### 高校生が研究成果を発表 みやぎ総文2017工業部門

8月3日と4日、仙台国際センター（仙台市）で、第41回全国高等学校総合文化祭みやぎ総文2017工業部門が開催され、工業系部活動などに所属する生徒が、ステージ発表部門と展示発表部門に分かれ、活動の成果を発表した。

4日は、展示発表部門の9団体の発表が行われた。仙台工業高等学校（仙台市）の建築倶楽部は、津波発生実験装置を製作し、建築物の模型を使ったシミュレーション結果などを発表した。

生徒は、「基礎部分が強く、1階に大きな開口部がある建物で、最も津波に耐えることができた。今後も様々な実験を重ね災害に強い建物について更に検証を続けていきたいです」と話した。

審査の結果、ステージ発表の部では登米総合産業高等学校（登米市）の機械工作部が、展示発表の部では石巻工業高等学校（石巻市）天文物理部が最優秀賞を受賞した。

全国高等学校総合文化祭は、全国の文化系部活動の



女川町内にある集団移転地区の模型作品について説明する生徒



屋根の基本構造「小屋組み」を使ったベンチを仕上げる生徒

### 子どもたちが技能士の技を体感 ものづくりフェスタinみやぎ2017

8月4日から6日にかけて、「ものづくりフェスタinみやぎ2017」が夢メッセみやぎ（仙台市）で開催された。同イベントは、技能者の作品の展示、実演、



子どもにかなの使い方を教える建具製作技能士



婦人子供服製造技能士のサポートを受けながらミシンを操る児童

ものづくりの体験などを通じて、技能と生活の関わりや技能の素晴らしさについて知ってもらおうと毎年開催されている。

和裁や洋裁、左官や畳など、参加した各団体のブースにもものづくり体験コーナーが設けられ、会場を訪れた小中学生が、技能士の説明を受けながらものづくりに楽しんだ。



特設会場では、熟練の技能士が卓越した技能を披露した

宮城県板硝子商工協同組合のブースで万華鏡づくりを挑戦した児童は、「穴をのぞいたら、外の景色がたくさん見えてびっくりしました。ほかの場所でも工作ができたのでとても楽しかったです」と話した。

関係者は、「どの職種も深刻な職人不足の問題を抱えています。体験教室をきっかけに子どもたちがものづくりや技能士に興味をもってくれることを願っています」と話した。

### ものづくり人材の確保・育成を目指す 若年者の技能検定受検料が一部減免

厚生労働省は、日本のものづくり分野に従事する若者の確保と育成を目的に、この秋から技能検定の受検料の減免措置を行う。

機械加工や工場板金など各都道府県の職業能力開発協会が実施する全職種とウェブデザインや、機械保全など民間の指定機関が実施する5職種を対象。2級または3級の実技試験を受検する35歳未満の若年者に対し、9000円を上限に減免される。

例えば、機械加工（普通

旋盤作業）を高校生が受検する場合、これまでの受検料は実技試験で1万1900円、学科試験で31000円。減免措置を適用すれば、実技試験を29000円で受けられるようになり、生徒の金銭的負担が軽減される。

宮城県職業能力開発協会の担当者は、「今回の措置をきっかけに、若者の受検者が増えることを期待している」と話している。検定に関する問合せは、同協会技能振興課（0221-2711997）まで。

### ●減免の対象となる職種と等級

実施機関	職種名	等級
都道府県 職業能力開発協会	全職種	2級・3級
	ウェブデザイン	2級・3級
民間の 指定試験機関	ピアノ調律	2級・3級
	機械保全	2級 (3級はH30年度から(予定))
	情報配線施工	2級・3級
	ビルクリーニング	3級 (2級はH30年度から(予定))

※平成30年度以降は変更される場合あり  
外国人研修生等を対象とした随時実施される等級は対象外

### 「これからのイベント開催情報」

- サイエンスプラス（ものづくり体験教室）  
栗原地域の企業・学校などが連携して、楽しみながら学べるものづくり体験教室を開催します。今年も多彩な20のプログラムを用意。「第16回東北ポリテックビジョンin栗原」も同時開催されます。  
【開催予定日】  
日時／9月30日（土）10時～15時30分  
場所／東北職業能力開発大学校  
申込／ホームページにある参加申込書に必要事項を記入の上、FAXまたはEメールで。  
申込締切／9月15日（金）※必着  
問／0221-211-2764（宮城県産業人材対策課）  
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sanzin/scienceplus.html
- みやぎまるごとフェスティバル2017  
「伊達な匠と味との出会い」をテーマに、県内の特産品・農林水産物・加工品・工芸品の展示・販売を行います。宮城県産品が当たるスタンプラリーや県産食材を使ったお振る舞いのほか、クッキングショーや県警音楽隊コンサートなど楽しいイベントが盛りだくさんです。  
【開催予定日】  
日時／10月14日（土）・15日（日）10時～16時  
場所／宮城県庁、勾当台公園、市民広場  
問／0221-211-2815  
(みやぎまるごとフェスティバル実行委員会)  
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syokushin/manugoto2017.html
- 全日本製造業コマ大戦しばた産業フェスティバル場所  
「全日本製造業コマ大戦」は、各企業や団体、高校生が自分たちでコマを作り対決させる「喧嘩コマ」の大会です。子どもたちを対象のコマづくり体験（1回500円）とコマの対戦に参加できます。  
【開催予定日】  
日時／10月15日（日）10時～  
場所／柴田町立船岡小学校 体育館  
参加費／一般3000円 ※学生は無料  
申込／団体名（個人の場合は氏名・所在地・担当者名・メールアドレス・電話番号・意気込みをEメールで。  
申込締切／10月10日（火）※定員（20チーム）になり次第締切  
問／ko-chiba@wanuna-seiko.jp  
0223-126-2121（株式会社岩沼精工・千葉）